



学校だより

5月号

【か】よくかんがえ 【な】なかよく 【が】がんばる 【わ】わたしたちかなっ子

神奈川小公式WEBページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kanagawa/>

令和6年4月30日

横浜市立神奈川小学校

本校のすばらしさ

校長 足立 渉

正門左手にある藤棚の藤の花がとてもきれいに咲いています。調べると、藤の花は現存する日本最古の書物である「古事記」にも載っていて、古くから日本で親しまれ、愛でられていた花のようです。花言葉はいろいろありますが、「歓迎」「やさしさ」など、温かい感じの意味が多いです。入学、進級してから1か月間頑張った「かなっ子」たちを、まるで藤の花も優しく歓迎しているかのように咲き誇っています。



さて、着任からひと月経ちました。その中で本校のすごいと思ったところを書いていきます。

まず、職員集団が素晴らしいです。校長が自校の職員をこのように書くと「何を言ってるの？ 恥ずかしくないの？」など言われそうですが、教員、技能職員（用、調）、事務職員等、少人数ながらまとまり、アットホームな環境を創っています。このほっとできる職員集団に支えられ、指導されることで、多くの「かなっ子」たちは安心して学習できるのではないのでしょうか。この温かい雰囲気は、児童はもちろん皆様にも十分伝わっていることと思います。

次は子どもたち「かなっ子」のすばらしさです。1か月子どもたちの様子を見てきました。どの教室でも、担任や専科の先生と落ち着いて学習に取り組む姿がありました。また、学ぶ意欲も感じました。ペア学年での取組を見ると、下の学年の子に寄り添いながら、優しく接していました。特に6年生は、1年生のお手伝いをがんばっていました。全てやってあげるのではなく、1年生がこれから自分一人ですることができるようになることを考えた声掛け、補助をしていました。こうしたよい姿をたくさん見られたこと、とてもうれしく思いました。また、キッズタイムになると多くの子が校庭に出ます。仲間や先生と元気に楽しく遊んでいる姿も素晴らしかったです。校長の引継ぎのときに前任の田名部校長先生が、本校を異動することをとても残念に思いながら、

「とってもいい学校よ。足立先生、頼むわね。」と仰っていた意味がよくわかりました。このすばらしい姿を、どう増やしていくかが私の課題です。しっかり考え、職員や保護者、まちの方と話し合いながら、「チームかな小」を成長させていきます。今月も、よろしく願いいたします。

今年度が始まり1か月経ちました。友達や先生にも慣れ、気にかかることも出てくる時期です。お子様の家庭での様子から、何か気になること、不安に思うことがあれば、すぐに担任や専任にご相談ください。「チームかな小」として、全力でサポートしていきます。